

キャラクター名  
終流河（ひいらぎ りゅうが）

プレイヤー名

シンドローム	ノイマン モルフェウス		ワークス	UGNエージェントA	カヴァー	UGNエージェント
	パロール			年齢	28歳	性別
オプション	覚醒	感染	衝動	飢餓	初期侵食率	28 %
出自	安定した家庭		経験	危険な仕事	邂逅	同行者

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	27
肉体	1	1	0			2	行動値	7
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	7
精神	3	0	0			3	戦闘移動	12
社会	2	0	0			2	全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	3		射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:	UGN	2
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
日本刀	
決闘者の剣	

合計装甲: 0    合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
賢者の石	P	N		
坂月那岐	P 好奇心	N 敵愾心		
神月寒白	P 感服	N 敵愾心		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 6    残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセントレイト	3	2	メジャー	-	-	-	-	
効果: C値-lv（下限値7）								
マルチウェポン	1	3	メジャー	対決	-	対決	-	
効果: 武器二つ使用。達成値5-lv								
孤独の魔眼	1	4	オート	視界	効果参照	自動	-	
効果: 自身を対象を含む範囲・範囲選択の対象を自身1人に変更する。								
空間圧縮	1	2	セットアップ	視界	単体	自動	-	
効果: 対象は戦闘移動を行う。								
砂の加護	2	3	オート	視界	単体	自動	-	
効果: ダイス+[lv+1]								
砂塵霊	2	3	オート	視界	単体	自動	リミット	
効果: 攻撃+[lv*4]								
水晶の剣	2	4	メジャー	至近	効果参照	自動	-	
効果: シナリオ間武器の攻撃力+[lv*2]								
天の業物	1	4	オート	視界	単体	自動	リミット	
効果: C値-1（下限値5）、水晶の剣を使用した武器での攻撃時使用可。								
カウンター	1	4	リアクション	武器	単体	対決	80	
効果: タイミング:メジャーと組み合わせ可。単体攻撃に対し攻撃を行う。対決に勝利した側の攻撃が命中し、未行動時のみ使用できる。								
	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

「終流河。流るる河と書いて流河だ。上でも下でも、好きに読んでくれて構わないよ。……あ、『るかちゃん』ってのはやめてくれよ？『りゅうがちゃん』なら構わないぜ。」

「ああ僕そんな強くないから変に期待しないでね。敵なんか2人で限界、3人以上となると一目散に逃げるタイプだから、僕。ん？1人なら？そうだなあ、競争ならともかく——1対1（サン）の取り合いなら負けなないぜ。…今のかつこよかった？え、そんなことない？」

誕生日 : 2月7日  
好きな物 : 仕事中の居酒屋で飲むお酒  
嫌いな物 : 堅苦しい事  
一人称: 僕、俺 二人称: あんた、君、○○ちゃん（名前）  
imagesong :

■経歴:  
NWW世界にて、フェグダを構成する支部員の1人であり、もとよりその地区に住んでいた純日本人。UGN、FH入り乱れた荒れる土地の中で民間警察、もとい自警団の一員として活動していたがフェグダの統治が進むとともに自警団は解体。彼もその所属を無くすことになったが、自警団としての実績があったためフェグダ所属のエージェントとしてのスカウトを受け、続けてこの土地で活動することとなった。自身を『刀振る事しか役に立たないような人間』と評する中で美のところ、工作や事柄に対する手回しなどのスキルが高く、端的に言うのなら『流れに乗るのが上手い』、世渡り上手と言える。それは彼の経歴から見て間違いないものであり、混迷の時代の中においても、その時その時で取まる場所に取まっている。『運がいいだけだよ』と本人は言うがそれが本当に運だけなのかはたまたま彼自身の思慮によるものなのか、それを知るものは彼と深い仲の物であっても少ない。

■人物: